

令和6年度 自己評価の結果について

学校法人旭川カトリック学園
認定こども園 カトリック士別幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、「おいのり・しんせつ・がまん・ありがとう」の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切に教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と保育者間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友だちと十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、当地域において本園が今後担う役割について検討する。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	安全で清潔感のある環境を構成している。 指導計画は、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるような順応性のあるものになっている。毎月、月案を作成し、遊びに必要な道具や用具、素材などを質・数量に配慮して用意している。行事は、打ち合わせを密に行い準備をし、子どもがより楽しめるよう考えて取り組んでいる。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	保育室が2階のため、園児用の手すりを使い、上りと下りの進行方向を決めている。子どもたちが好む隠れられる場所を把握し、安全に遊ぶことができているか確認している。園舎内外の遊具の安全点検や園内の換気、採光、室温などに気を配っている。床暖房による乾燥を防ぐために加湿器や空気清浄機を設置している。 園児一人ひとりの話を聞き、その子の思いを受け止めるよう努めている。わがままで言っているのかも判断しながらその子の思いを聞くようにしている。毎日の職員間の集会の中で、園児について、満3歳、年少、年中、年長またはクラスに関係なく保育者全員が情報を共有し、共通理解をするように心がけている。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	職務上知り得た個人情報を管理し外部に漏らさない。 園児の性格や個性を把握し、その子の考えや感じていることの理解に努めている。 研修は、北私幼、北カ幼、旭川カトリック学園などの研修会に積極的に参加し、研修報告書を提出し、資質向上に努めている。研修はあくまで自分の資質向上のためだが、処遇面にも反映してくるのでできるだけ受ける

	<p>ようにしている。リモートの研修にはなるべく参加するようにした。</p> <p>園に神父さまがいないため、稚内から神父さまに来てもらって保育者のための勉強会と園児のために宗話を毎月行っている。キリスト教の精神と理念を土台に幅広く人間のことを学び保育に活かせるように考えている。</p>
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携</p> <p>園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<p>園児の様子は電話や連絡帳で知らせ、直接保護者と顔を合わせた時に表情を見ながら伝える工夫をするように努めている。保護者からの相談や要望に心を開いてよく聞くように努めている。</p> <p>仕事をする母親が増えているのでマチコミメールを利用して、保護者へ緊急連絡をしている。</p> <p>個人情報の管理に気をつけている。</p> <p>園だより、クラスだよりが保護者にわかりやすいものとなるよう内容や文面を考え、発行している。</p>
<p>5 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり、及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>士別紙芝居サークルの方にきていただき、紙芝居を見せていただいている。先生とは違う人に読んでもらうことで、園児たちは集中して楽しんでいく。来年度は学期ごとに1回を考えている。</p> <p>中学生の職場体験の受け入れもしている。園児たちは、お兄さんお姉さんといっしょに遊んでもらい喜んでいる。</p> <p>幼保連携事業で小学校見学に参加し、就学に向けて良い経験となっている。</p>
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>研修会には、自己課題をもって進んで参加している。研修後には報告書を提出し保育に活かしている。研修で購入した教材は保育に活かし、子どもたちにとって興味をひくもの、関心のあるものは何か常に研究している。</p> <p>幼児の発達を見通した環境構成や教材に関する研修・研究を行っている。</p>
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ積極的に園だより等で情報公開する努力をする。</p>	<p>園だよりでは、園の教育方針を具体的に今月のおやくそく・今月の指導目標として表し、保護者には理解していただけていると思う。</p> <p>行事等の詳細については簡潔でわかりやすいものとなるように見直していくことも必要である。運動会は全クラスでおこなった。年長児のバルーンを見て小さいクラスの保護者も感動していた。年齢による発達の違いを保護者、観客の方も見るのができたと思う。発表会は駐車場の関係や室内での行事なのでクラスごとに行い、密にならないように入れ替えの時には換気をするなど工夫をして行なった。近隣の方にも協力していただき、駐車場をお借りしている。来年度も同じようにする予定。</p> <p>園児の様子を理解していただけるようにクラスだよりを発行している。</p> <p>ホームページは学園全体として公開している。また、Instagramで園でのようすを公開している。</p>

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通に理解し、それぞれ自己評価し、取り組む状況を話し合

いを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践することができた。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	<p>園舎内外の危険箇所をみんなで割り出し、防止に努めている。防犯訓練については不審者対応の訓練を行なった。決まっている日だけではなく、保育者の訓練として予告なしでの実施も考えていく必要がある。</p> <p>防犯カメラを設置し、防犯対策に努めているが、自動ドアの施錠を徹底するなど更なる対策、検討が必要であると考えている。</p> <p>園内に AED を設置し、職員は普通救命講習を受けているが、再度講習の依頼を検討中である。</p>

特別支援教育	<p>幼児に対応した個別の指導計画の作成を検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携をできるかぎり行ってきた。こども通園センターと保健福祉センターと連携を図り、定期的に情報交換を行っている。年1回、士別市による専門支援事業を行い、作業療法士、保健師、こども通園センターの職員に訪問していただき日常生活における基本的な動作や集団生活への適応など、専門的な視点でアドバイスをいただいている。今後も継続し、園生活の中で必要なことに関しては積極的に取り入れていきたい。</p>
園に対する保護者の満足度の把握	<p>本学園の建学の精神に則った独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。</p>
認定こども園	<p>認定こども園になり、職員の勤務形態も変わってきていることから、報告・連絡・相談をこれまで以上に徹底し、職員間での共通理解を更に深めていくことができるように努めている。職員全員が周知、把握できるように職員会議は預かり保育の全園児が帰った18時から行なうようにしている。近年、職員の入れ代わりが多く見られ体制が変わっているため、更なる連携と見直しが必要だと感じている。</p> <p>週3回の給食は保護者、子どもたちからも好評を得ている。塩分量にも気をつけている。苦手なものにチャレンジし、みんなで同じ物を食べる喜び、農園活動で野菜を育ててそれを給食で食べるなど、心の教育にも努めている。物価の高騰で全般的に食材が上がっているが何とか現状のまま金額を抑えてきた。来年度は、1食につき20円の値上げを予定。</p> <p>預かりの園児が増え、長い時間幼稚園にいることになるので保育の充実をこれまで以上に努めていきたい。</p>

6、学校関係者の評価

保育の計画性

評価 A ・「園でこれを作ったよ！」と毎回子どもが嬉しそうに話してくれて、家でも同じような物を作ると、制作の上達に親は毎度驚かされていました。

保育の在り方及び対応

評価 A ・何か出来事があって、先生からその話を聞く時はいつも、我が子の気持ち、「思い」を大切に接してくれているな・・・と実感しました。

保育者としての資質

評価 A ・他の保護者の方と、幼稚園のことを話す機会があり、一人一人にあった対応をしてくれているな・・・と思いました。

保護者への対応及び家庭との連携

評価 A ・担任の先生はもちろんのこと、他の先生もその日の様子を細やかに伝えて下さり、安心感をおぼえました。

・園日より等配布物、年々分かり易くなっており、工夫を感じました。

地域社会との連携

評価 A ・中学生のお兄さんお姉さんが来た事、家でも嬉しそうに話してくれました。また、小学校との連携、親も子も安心します。スムーズに就学できました。(保育園や他幼稚園とも)

情報公開

評価 A ・お迎えに行くとその日の様子が写真付きで貼ってあったり、インスタグラムで行事の様子が見られたり、忙しい中でも工夫して情報公開して下さっている点、とてもありがたかったです。また、全クラスでの行事は、親も子も「来年はこれか！」と把握でき、安心感につながると思います。

7、第三者評価

保育の計画性

評価 A ・季節に合った活動を取り入れながら、それぞれの季節の良さを子どもたちに感じさせようとしてくれているのがわかりました。

保育の在り方、幼児への対応

評価 A ・縦割り保育保育が楽しかったようです。普段は難しいのかもしれませんが、学年末だけでなく、もう少し異学年との交流、学習あると良いかなと思いました。

保育者としての資質

評価 A

保護者への対応及び家庭との連携

評価 A ・いつも子どもたちの様子を細かく教えてくださり、安心して預けることができました。

地域社会との連携

評価 A

研修と研究

評価 A

情報公開

評価 A ・学期末に出る通信、いつも楽しく見せてもらっていました！！

・インスタグラムで普段の様子がわかるのも良かったです

8、財務状況

大手監査法人である太陽 ASG 有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。